

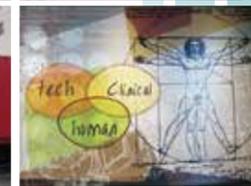
Chang Gung Medical Technology (CGM)

長庚醫學科技股份有限公司

<http://www.cgmc.com.tw>



長庚記念病院グループの中の1企業。同グループは1万床以上のベッド数を持っているが、このバックグラウンドから、現場で求められている製品をいち早く開発・製造できるのが強み。新製品の「Vanguardシリーズ」のベッドは、患者の体重を正確に測ることができ、緊急を要する場合のリクライニングのスピードも従来品よりアップしているのが特長。MEDICARE TAIWANには、その他、電動アシスト付きのストレッチャーや、看護師などが使うカート、輸血用血液加温装置など、新製品が多数紹介される。
※日本では株式会社オカノが同社のベッドを取り扱っている。
参考:オカノ(<http://okano-medicalunit.jp>)



過去のMEDICARE TAIWANの様子と会場の台北世界貿易センター、今回訪問した企業等

TIMING PHARMACEUTICAL

天明製薬股份有限公司

<http://timing-pharmacy.com>

漢方医薬グループである天明医薬グループの中心となる製薬会社。「伝統的な漢方薬の処方現代の科学技術と結び付けて病気回復・健康増進に寄与する」という理念のもとに製品開発・製造を行っている。日本の厚労省から医薬品等外国製造業者の認定を受けているが、現在のところは台湾向けが主であるという。外用薬（漢方湿布薬など）から日本市場に参入したいと考えており、提携企業を探しているとのことである。同グループの昭信標準検査は、医薬品や化粧品などの検査を行う標準実験センターであり、日本製品の検査も行っている。



BESMED HEALTH BUSINESS

貝斯美德股份有限公司

<http://www.besmed.com>

1998年創業、呼吸器ケア、救急医療、麻酔およびヘルスケア製品を製造しており、設計から組み立てまでほとんど自社で行っている。台湾以外では中国の寧波市に工場を持ち、主にディスポーザブル製品を生産している。有害なPVC（塩ビ）を使用せず、継ぎ目がなく顔にフィットする麻酔用マスクを主力製品とし、蘇生バッグ、PEEPバルブ、呼吸訓練用 Incentive Spirometer、そして一般向けの携帯型ネプライザーなどの製品が揃う。台湾大学との提携による製品開発を行っており、FDAやCEの認証に向けた専門担当者も配置している。日本市場への参入も考えているという。



年々成長を続ける医療産業市場における台湾唯一の総合医療産業見本市「MEDICARE TAIWAN 2016」6月に開催

<https://www.medicaretaiwan.com>

本年で7回目となる「台湾国際医療産業見本市（MEDICARE TAIWAN）」が台北世界貿易センター第1展示ホールにおいて開催される（2016年6月16日～19日）。「台湾国際シルバー・ヘルスケア見本市（SenCARE）」との同時開催となっており、医療用材料・機器だけでなく、漢方薬や健康食品、介護福祉用品、移動用補助器具等の幅広い展示が行われ、医療関係者、バイヤーのほか一般客も数多く訪れる。昨年引き続き、同見本市に出展する予定の台湾の有力企業を訪問・見学する「Medicare Pre-Show Tour」に参加する機会を得たので、報告する。

第7回台湾国際医療産業見本市「MEDICARE TAIWAN」は、台湾經濟部国際貿易局が主催し、台湾貿易センター（TAI TR A）が実施、台湾メデイカルバイオテクノロジー協会の後援で行われる。同見本市は、台湾では唯一の総合的な医療系展示会であり、日本やアメリカなどの海外からのバイヤーも数多く訪れるため、台湾企業が自社製品をアピールし海外市場を開拓する機会となっている。また出展する海外企業にとっては、台湾を拠点として中国・

アジア各国市場に進出する契機となる場でもある。実際に、同見本市では例年商談会を開催しており、訪れた海外企業が関心を持った台湾企業と直接交渉することも可能となっている。TAI TR Aによると、会場は9つのエリアに分けられ、医療機器をはじめ、リハビリテーション機器、医療用IT・モバイル製品、外科手術・歯科・整形外科用製品、診断装置、消毒滅菌器具、計測器、消耗品、医薬品、漢方薬、医療バイオテクノロジー、ヘルスケア製品、医療サービスなど、さまざまな製品が揃う。また、展示の他にも、ショーアップされたオープニング・セレモニーをはじめ、新製品発表、シンポジウム、セミナーなどが同時開催される。2015年は、出展社数289社、545ブース、来場者数6万1950名を記録しており、本年もより規模を拡大して開催を予定している。海外からの来場者を国別にみると、中国、日本、アメリカ、シンガポール、香港、タイ、マレーシア、韓国、インドネシア、フィリピンなどと、極めて広い。

台湾では、将来的には日本に追いつくと言われるほどの急激なスピードで高齢化が進んでおり、「長期顧服務法」（長期介護サービス法）の施行が2017年に迫っている。そのため、台湾より早く超高齢社会を迎えた日本の製品・サービスへの関心が非常に高い。また、歴史的な経緯もあって、日本向け製品の製造も盛んであり、技術提携なども多く行われている。ちなみに、多くの台湾企業が日本で厚労省による医薬品等外国製造業者・医療機器等外国製造業者の認定を受けており、そのリストは独立行政法人医薬品医療機器総合機構のWebサイトで確認できる。TAI TR Aでは、同見本市への日本企業の出展、来場を広く呼び掛けている。

急スピードの高齢化に対応を迫られる台湾。日本との関係も深い

Dyaco International

岱宇國際股份有限公司

<http://www.dyaco.com>

トレッドミル等のエクササイズマシンで知られ、世界中に製品を輸出している企業。近年は、理学療法の考え方を取り入れたリハビリ用トレッドミルも開発、販売を行っている。医療用製品は認証を取るのが困難であるが、エクササイズ用製品の製造ノウハウを持つ同社はそれを応用し、理学療法の専門知識を持ったエンジニアチームにより比較的安価な医療用のトレッドミルを開発できた。ISO13485も取得済。

また、国立長寿医療研究センターが開発に関わり、軽度認知機能障害ケアを目的としたエルゴメーター「コグニバイク」も製作している。

※「コグニバイク」はインターリハ株式会社の製品である。

参考：インターリハ (<http://www.irc-web.co.jp>)



I-Ming Sanitary Materials

愛民衛材股份有限公司

<http://www.iming.com.tw>

整形外科的リハビリテーションに軸を置き、研究開発に多くの人材を投入している。医療用、リハビリ用、スポーツ用サポーター、プロテクター等の製品を製造しているが、品質保持のために素材のチェック・加工から製造まで一貫して台湾で行って

おり、ラボでのテストも厳密に行っているという。サポーターに熱を発生させる電子機器を付けた「パワーヒーティングサポート」シリーズや、一般向けの加圧ストッキングなどもラインアップしており、日本市場でも価格的に他のメーカーと競争可能なため、日本でのパートナー企業を探しているとのことである。



PIHSIANG MACHINERY MFG.

必翔實業股份有限公司

<http://www.pihsiang.com.tw>

電動カートや電動車椅子、前輪駆動のパワーアシスト付き自転車等を製造するほか、同グループの必翔銀髮事業股份有限公司がそれらを含め高齢者の生活に役立つ製品を揃えた「必翔銀髮樂活館」という店舗を台湾中に展開している。電動カート等の製品は、安全性の面で優れ長持ちするLiFePO4(リン酸鉄リチウムバッテリー)を使用しており、「SHOPRIDER」というブランド名で販売している。同製品は2014年に世界で100万台販売を達成した。2017年からの長期介護サービス法の施行を見据え、今後は販売だけでなくリースにも対応するように計画しているとのことである。※日本では、株式会社アルファサービスが同社の製品を取り扱っている。

参考：アルファサービス (TEL: 047-382-5240)



Apex Medical

雅博股份有限公司

www.apexmedicalcorp.com

1990年創業、2002年上場、ODMを行いつつ研究開発に注力し、2010年からApexブランドで製品を製造している。デザインから製品化までには時間もコストもかかるが、高品質な製品を生み出すためにR&D部門に社員の20%を充てている。部分ごとに空気圧の調整を行うことで褥瘡予防に効果があり、自然に寝返りを打たせることもできるエアマットレス Pro-careシリーズや、家庭用睡眠時無呼吸症候群患者用CPAP(持続式陽圧呼吸療法)治療器iCHシリーズ、創傷管理(陰圧閉鎖療法)用のZIP NPWT Systemなどを主力商品としている。



Information

<https://www.medicaretaiwan.com>

台湾国際医療産業見本市 (MEDICARE TAIWAN)

開催日時：2016年6月16日(木)～19日(日) 10:00～18:00 (最終日は17:00まで)

会場：台北世界貿易センター第1展示ホール

同時開催：台湾国際シルバー・ヘルスケア見本市 (SenCARE)

主催：台湾經濟部国際貿易局

実施：台湾貿易センター (TAITRA)

後援：台湾メディカルバイオテクノロジー協会

展示内容：医療器具(病院設備、IT設備他)、救急設備、手当用品及び消耗品、医療用IT・通信製品、診断器具・設備、医療サービス、医学図書、外科手術器具、製薬、歯科・整骨科用機器及び設備、保健用品及びリハビリ製品、生化学検査設備、消毒滅菌器具、実験器具、車椅子、電動カート及び部品等。

出展社数：289社、545ブース(2015年実績)

来場者数：6万1950名(2015年実績)



HIWIN TECHNOLOGIES

上銀科技股份有限公司

<http://www.hiwin.tw>

ボールねじやリニアガイドウェイ、ベアリングを主軸とした企業。定位放射線治療装置のガンマナイフにも、同社の部品が使用されているという。近年、同社の得意とする精密技術を生かし医療機器分野に進出した。工業用の多軸ロボット技術を応用した内視鏡用の手術器具保持装置「MTG-H100」は、今年中に台湾で発売予定である。また、下肢筋力トレーニングシステム「MRG-P100」は、PC制御で心拍数により速度を変えるなど患者に合わせたプログラムを実行可能。リフト機能付き介護入浴装置「MHS-B100」および「MLT-H100」も展示予定である。

